

第二次世界大戦敵味方戦亡者慰霊碑（解説）

①鹿児島市の戦災

第二次世界大戦終盤の昭和20年、本市は大規模な空襲により市街地の約93%を焼失し、当時の人口の約3分の2にあたる11万人以上が被害を受け、終戦を迎えました。



昭和20年、焼け野原となった市役所周辺の様子（撮影：平岡正三郎氏）



第二次世界大戦敵味方戦亡者慰霊碑（探勝園）

②慰霊碑の建立・由来

第二次世界大戦敵味方戦亡者慰霊碑は、昭和28年12月、大戦で亡くなられた世界中の方々を悼むとともに、二度とこのような惨事が起こらないことを祈念するため、第14代 勝目清 鹿児島市長により建立されました。当時は中央公園に建てられましたが、その後、地下駐車場建設に伴い、現在の城山公園内探勝園に移設されました。

「第二次世界大戦敵味方戦亡者慰霊碑」建立の趣旨（慰霊碑横の石碑）



第二次世界大戦では、世界中で二千万人以上の生命が失われたようでありま
す。その霊をなぐさめるとともに再びかかる惨事が起こらないようにと思ってこの碑
を建てました。旧薩摩藩主島津義弘は
朝鮮での戦争で亡くなった、敵味方の
人々のため慶長4年高野山に供養碑を
造りました。これは日本における赤十字
精神の見本として世界各国に有名であり
ます。此処に造った碑は、前記の供養碑
と同じ形、同じ大きさであります。
昭和28年12月25日 鹿児島市長 勝目 清

ご案内 《入場無料》

「ナガサキ原爆展」と
「鹿児島市の戦災と復興資料・写真展」

令和7年8月11日（月・祝）－17日（日）
会場：中央公民館ホール内 鹿児島市山下町5番9号
開催時間：9:00～19:00 ※最終日は17:00まで

- 展示内容
 - ・原爆被災写真等パネル
 - ・被爆資料
 - ・市民寄贈の戦災・復興資料
 - ・鹿児島市の空襲被害状況の
写真等パネル など

- 各種コーナー
 - ・DVD上映コーナー
 - ・折鶴コーナー
 - ・図書コーナー
 - ・被爆体験記コーナー
 - ・平和へのメッセージコーナー など



6-29から見たきのこ雲（長崎市収蔵 米国国立公文書館 所蔵）



- 被爆体験講話
 - 8月16日(土) 14:00～15:00
 - 8月17日(日) 14:00～15:00



空襲直後の鹿児島市街地（撮影／平岡 正三郎 氏）

お問い合わせ
鹿児島市総務部総務課
Tel(099)216-1125

令和7年第二次世界大戦戦亡者慰霊祭



日時：令和7年8月15日（金）10:00～
場所：探勝園（城山公園内）

会次第

- 合唱 鹿児島女子高等学校
- 開式
- 一同拝礼
- 黙祷
- 慰霊のことば
 - 鹿児島市長 下鶴 隆央
 - 鹿児島市議会議員 川越 桂路 様
 - 児童代表 山下小学校6年 柴田 桜 さん
 - 生徒代表 長田中学校3年 桑園 もも花 さん
- 献花
- 一同拝礼
- 閉式



本日の様子や「慰霊のことば」は、本市HPでも紹介予定です。
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/soumu/shichoshitu/hisyo/shise/heiwa/sennbousya.html>

児童・生徒からのメッセージ

名山小学校6年 平松 結 さん

「戦争は二度としない」と日本は宣言し、世界中の人々もそれを望んでいます。しかし、今この時間にも、爆弾が降ってくる恐怖とともに過ごしている人がたくさんいます。

5年生の時「たずねびと」という物語で、80年前何があったのか知り、その街の風景や私と同年の人の顔などが思い浮かび、どんなに辛かったのか考えました。こんなにも悲しいことは、絶対に繰り返してはいけないと思います。

今日は、戦争で亡くなった方々に、今自由に生きることができていることに感謝し、毎日を大切に生きていくことを伝えたいと思います。



平和主義について考える（社会科）

～戦後80年～

鹿児島玉龍中学校3年 濱崎 藍丸 さん



知覧特攻平和会館での平和学習

令和4年8月、知覧特攻平和会館に「平和の噴水」が完成したのを知っていますか。

鹿児島玉龍中学校では、2年生で知覧特攻平和会館を訪れ、「平和」について学習します。資料館内の遺品や手紙などに加えて、私は外の「平和の噴水」に目が留まりました。その噴水は平和を願う人々の寄付によって作られたもので、「噴水のある水辺を追悼と平和を誓う場としてほしい」という願いが込められています。

今年は戦後80年という節目の年です。80年前を生きた先祖を思い、今に感謝し、私たちができる行動で、平和への思いを示していきます。



平和都市宣言標語
令和六年度最優秀賞作品
造らない
存在させない
核兵器
吉田南中学校二年 勝下 晴喜さん

甲東中学校3年 笠 凜乃丞 さん



長崎の原爆資料館における平和学習講話

甲東中学校では、1年生で知覧特攻平和祈念館に行き、2年生の修学旅行で長崎の原爆資料館に行きます。そこで平和について学習します。実際に肌で感じることのなかったことを実際に行って自分ごととして考えることができました。

今日では平和な日本ですが、80年前も今もどこかで戦争・紛争は起こっています。日本がこれからも平和であるためには80年前の記憶を忘れないことだと思います。

戦争による惨劇を繰り返す未来が絶対にあってはなりません。

～鹿児島市平和都市宣言35周年～

鹿児島市平和都市宣言

わたくしたちの郷土鹿児島市は、先の大戦により市街地のほとんどを焼失し、多くの尊い人命と財産を失った。

鹿児島市は、その焦土の中から立ち上がり市民の英知とたゆまぬ努力によって、今日、南九州の中核都市として限らない発展を続けている。

わたくしたちは、この平和で豊かな郷土を次の世代に引き継ぐために、再び戦争による惨禍を繰り返さないことを誓い、あらゆる国の核兵器の全面廃絶と国是である非核三原則の遵守を希求し、世界の恒久平和の達成を願い、ここに「平和都市」を宣言する。

平成2年2月26日

鹿児島市

平和都市宣言30周年記念作品

絵画の部 最優秀作品

吉野東中学校 小野 馳昂さん



慰霊祭の開催の様子

本市では、慰霊碑建立以来、8月15日にご遺族をはじめ関係の方々に参列いただき、「第二次世界大戦戦亡者慰霊祭」を開催しています。

式典では、慰霊のことばや献花を捧げ、敵味方の区別なく戦亡者を慰霊するとともに、再び戦争の惨禍を繰り返さないことを誓っています。

